

## 災害に備えて体験

起震車「なまず号」体験 **6/5**

6月2日から5日にかけて、町内の小学校を対象に起震車「なまず号」体験を行いました。東日本大震災の揺れや震度7の揺れを経験し、地震が起こった際の初期行動を学びました。想像していたよりも強い揺れに、児童たちは倒れまいと机の脚にしがみついていた様子が見られました。



▲いざ、なまず号へ



▲震度7の揺れを体験中！

## 地域との「絆」を大切に

幸田町商工会青年部「絆」感謝運動 **6/9**

商工会青年部全国統一事業「絆」感謝運動が実施され、幸田町商工会青年部の13人が、町内保育園・幼稚園の園児に対し、交通安全標語入り風船を配りながら、地域との「絆」について、確認・感謝するための活動をPRしました。



▲園児に説明する青年部部長の田崎さん



▲園児たちと記念撮影

## 親子ワニが続出！

パパとあ・そ・ぼ **6/13**

上六栗子育て支援センター（くりくりひろば）で未就園児の子どもと父親を対象にした「パパとあ・そ・ぼ！」が開催されました。15組の親子が参加し、親子でふれあい遊びなどを楽しみました。いろんな動物のまねをする遊びでは、お父さんの背中に乗る子どもワニがたくさん見られました。



▲親子ワニ



▲みんな、パパに抱っこされてうれしそう！

まちがと  
かぞ

身近な情報を広報へ

## 熱戦が繰り広げられました！

西三河地域子ども会球技大会（西三ドッジ）幸田町予選大会 **6/7**

6月7日にデンソー幸田製作所体育館で西三河地域子ども会球技大会（以下、西三ドッジ）の幸田町予選大会が開催されました。

結果は、女子の部優勝が市場ジャイアント子ども会、準優勝が岩堀子ども会、男子の部優勝が深溝学区子ども会でした。優勝した2チームは、9月5日に岡崎市岡崎中央総合公園体育館で開催される西三ドッジに幸田町代表として出場します。



▲優勝した市場ジャイアント子ども会



▲男子の部優勝の深溝学区子ども会



▲準優勝の岩堀子ども会



▲競技中の一場面

## たくさんの応募がありました

プレミアム商品券の引き換え **6/15**

5月に募集を行ったプレミアム商品券は、応募多数のため5月26日に幸田町商工会にて抽選が行われました。6月中旬に抽選結果が発送され、当選者には6月15日から町内の信用金庫と商工会の窓口で引き換えが行われました。なお、プレミアム商品券は12月31日が有効期限となっています。有効期限までに取扱店舗でのご利用をお願いします。



▲発行されたプレミアム商品券



▲取扱店舗の目印であるのぼり旗

# フォトニュース

広報直通ダイヤル(63)5132  
FAX(63)5139  
E-mail:kikakujohto@town.kota.lg.jp

## 父の日にバラをプレゼント

父の日にバラの寄贈 6/19

今年も、朝岡<sup>あさおか</sup>浅次郎<sup>あさじろう</sup>さんから「父の日のバラ」をいただきました。朝岡さんは須美で花き栽培をされる農家で、「母の日といえばカーネーションということは知られていますが、父の日に黄色のバラを贈ることはあまり知られていないので、父への感謝を忘れないためにも、毎年寄贈させていただきます。」と話され、黄色のバラのアレンジメントと赤色のバラの花束をいただきました。町長は「毎年楽しみにしています。ありがとうございます。」と談笑していました。なお、いただいたバラは、役場1階ロビーに飾らせていただきました。



▲バラを手渡す朝岡さん（右）

## 目の前でおきる現象にくぎづけ

里保育園父母の会主催サイエンスショー 6/24

里保育園で父母の会主催のサイエンスショーが開催されました。蒲郡市の生命の海科学館から講師を招き、いろんな実験が園児の前で披露され、実際に園児たちも実験にチャレンジしました。理屈を抜きにして自分たちの目の前で起きる現象に大いに盛り上がりました。



▲実験にチャレンジする園児



▲ぼくも、わたしも実験やりたい！

## プールへGO！

町民プールの屋外施設オープン 6/27

6月27日に町民プールの屋外施設がオープンしました。当日の天候はくもりで、水に入るには少し肌寒い気候でしたが、この日を待っていた人たちがオープン時間前に行列を作っていました。また、オープン記念のイベントとして、町民プールのシンク口教室に通う子どもたちが、演技を披露しました。



▲演技を披露したシンク口教室のみなさん



▲大人気のウォータースライダー

まちがとフォト

身近な情報を広報へ

## 立派に育ちました

夏秋なすの鉢植え品評会 6/29

J Aあいち三河幸田営農センターで、平成 27 年度幸田町夏秋なす部会鉢植え品評会が行われました。畑で育てるよりも難しい鉢植えのなす。芽数や茎の生育状況などを基準に品評が行われました。受賞者をご紹介します。



▲受賞作品と生産者の皆さん

平成 27 年度夏秋なす部会鉢植え品評会  
受賞者一覧 (敬称略)

幸田町園芸振興会長賞	いかいまさと 飯飼正人
あいち経済連合会長賞	すぎうらよつこ 杉浦陽子
あいち三河農業協同組合長賞	すぎつらよしあき 杉浦嘉明
名果(株)社長賞	あざいひろし 浅井裕司
(株)衣浦総合卸売市場社長賞	おおたりめうじ 太田隆二
幸田町夏秋なす部会長賞	あざいあきお 浅井昭男

## ものづくり支援の拠点

幸田ものづくり研究センター開所式 7/2

幸田町から蒲郡市にかけて立地する愛知工科大学内に、製造業の支援施設となる幸田ものづくり研究センターの開所式が、同大学内のホールで行われました。開所を記念して、東京大学大学院経済学研究科の藤本隆宏教授から、「ものづくりは流れづくり、流れづくりは流れを作る人づくり」をテーマに講演があり、町内外の企業などから多数の参加がありました。



▲開所式の様子



▲記念講演を行った東京大学の藤本教授

## 海外での異文化交流体験

中学生海外派遣団結団式 7/6

町内3中学校の13人が8月17日から24日の期間でオーストラリアのゴールドコーストを訪問する、中学生海外派遣団の結団式が役場庁舎で開催されました。



▲海外派遣団のみなさん

派遣団の生徒の皆さんは、「積極的にコミュニケーションをとりたい」、「日本とオーストラリアの言語・文化・生活様式の違いを学びたい」、「自らの視野を広げ、国際感覚を養いたい」、「自分の英語力でどれだけ会話ができるか試してみたい」と抱負を語ってくれました。

まちがと  
フォト  
ニュース

広報直通ダイヤル(63)5132  
FAX(63)5139  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp